

## 令和6年度 第3回 四街道市地域公共交通会議 会議録

日 時	令和6年10月21日(月) 14:00~15:00
場 所	四街道市文化センター203号室
出席委員	小早川会長 江守副会長 佐藤委員 三上氏(渡邊(友)委員代理) 清原委員 森委員 成田委員 竹田氏(高山委員代理) 伊藤(恭)委員 菊地委員 土門委員 佐川氏(小林委員代理) 伊藤(壮)委員 渋沢委員 金森委員 長田委員 伊藤(智)委員 渡辺(暢)委員 野口委員 南氏(伊藤(昌)委員代理) 及川委員 吉橋委員
欠席委員	平賀委員 植園委員
事務局出席者	新田地域共創部副参事 松崎くらし安全交通課長 小安交通政策係長 平良主事 淡路主事 竹中主事 ランドブレイン(株)
傍聴人	2人

### ———会議次第———

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議の公開・非公開について
- 4 議題
  - (1) 公共交通に関する実態調査の結果について
  - (2) 四街道市地域公共交通計画骨子(案)について
- 5 その他
- 6 閉会

### ———会議の内容———

#### 1. 開会

【事務局】 本日は、公私ともにご多忙の中、令和6年度第3回四街道市地域公共交通会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

会議の開催に先立ちまして、公募市民の馬淵委員が一身上の都合により委員を7月に辞退されましたことをご報告させていただきます。なお、新たな委員名簿につきましては、先日郵送させていただきましたとおりとなっております。よろしくお願いいたします。また事務局に関しまして、交通計画策定支援業務を受託している「ランドブレイン株式会社」に同席いただいておりますのであわせてご報告させていただきます。

定刻となりましたので、これより、令和6年度第3回四街道市地域公共交通会議を開会いたします。

本日は、委員定数24名のうち18名にご出席をいただいておりますので、会議が成立しています

ことをご報告させていただきます。

また、会議の成立や議事の可否を決する際の人数には含まれておりませんが、欠席委員の代理といたしまして、ちばグリーンバス株式会社から、運輸部長の三上様、千葉県タクシー協会から、業務部業務課長の竹田様、国土交通省関東運輸局千葉運輸支局から、輸送担当の佐川様、千葉県から、総合企画部交通計画課企画調整室副主査の南様にご出席いただいておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、会議次第に沿って順次進めさせていただきます。

## 2. 会長あいさつ

【事務局】 はじめに、小早川会長よりごあいさつをいただきたいと思います。

小早川会長、よろしくお願いいたします。

【小早川会長】 ～あいさつ～

【事務局】 ありがとうございます。この後の会議の進行につきましては、地域公共交通会議条例の規定に基づき、小早川会長が議事の進行となりますので、よろしくお願いいたします。

## 3. 会議の公開・非公開について

【小早川会長】 それでは、議長をつとめさせていただきます。

はじめに、会議録についてですが、第1回会議で決定しましたとおり発言者名は明記する扱いとし、事務局において作成をお願いいたします。

内容確認につきましては、公募市民の土門委員、菊地委員にお願いしたいと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。

【各委員】 ～承認～

【小早川会長】 土門委員、菊地委員よろしいでしょうか。

【土門委員・菊地委員】 ～承認～

【小早川会長】 会議録の内容確認を土門委員、菊池委員にお願いいたします。

次に、本日の会議の公開・非公開につきましては、会議の公開に関する指針により、公開とさせていただきます。

また、会議資料につきましては、同指針の解釈運用基準により、傍聴人の閲覧に供するものとなりますが、このうち、会議次第につきましては、配布するものいたします。その他の資料につきましては、本審議会の判断によるものとされており、本日の資料については、全て配布するものと

したいと存じますが、委員の皆様の意見をお伺いします。

【各委員】 ～異議なし～

【小早川会長】 それでは、本会議は「公開」とし、傍聴人に資料を配布することとします。事務局は傍聴の方がいらっしゃいましたら入室させてください。

【事務局】 2名いらっしゃいますので、ただ今から入室していただきます。

#### 4. 議題

【小早川会長】 議題に入ります。

##### (1) 公共交通に関する実態調査の結果について

【小早川会長】 (1) 公共交通に関する実態調査の結果について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】 お手元にお配りしております「資料1 公共交通に関する実態調査アンケート結果」について、重要な部分を中心にご説明をさせていただきます。

1ページでございます。市民アンケート調査といたしまして、無作為に抽出をいたしました市民の方に郵送をもってアンケートを行い、回答数としては、1,190件の回答を頂戴したところでございます。下の円グラフのとおり、回答に関しましては女性の割合が若干高くはなっているものの、回答者の年齢といたしましては、バランスの良い各世代からご意見が集められたものという風に捉えてございます。

続きまして、3ページをお願いいたします。「(2) 日常の移動のしやすさ」、外出するときの困り具合に関する調査でございます。3ページ中段の横の棒グラフを見ていただきますと、困ることがよくある、困ることがたまにあるという部分において、合計で約4割の方がそのようにご回答を寄せられております中、年齢別に見ますと、10代、20代、80代以上で「困り具合」の割合が高くなっているものでございました。また本ページの右下、困ることが多い行き先という部分につきましては、「四街道駅及び周辺」、こちらへのアクセスに関してお困りと考えていらっしゃる方が多いことが明らかとなりました。

続きまして、5ページ以降、こちらにつきましては、日常の外出行動につきまして問わせていただいたものとなっております。5ページ、6ページ、7ページ、8ページまでが日常の外出行動の部分でございます。

9ページまで進めさせていただきます。「(4) 自動車・バイク運転状況」について、でございます。中段の円グラフ左側、「自動車運転免許証をお持ちである」方が78.2%、そして、自動車や原付の利用頻度といたしまして、「週に5日以上」が50.7%と最も高く、「週に1日以上」利用される方

は約8割を占めているものでございました。9ページ下段の表、運転免許の返納の考え方でございます。「高齢になったら返納を考える」という方が67.9%と最も多くなっている一方、年齢別に見ますと70歳以上の方におかれましては、「返納を考えているが難しいと感じている」という項目が多くなっていることが明らかとなりました。

続きまして、10ページでございます。「(5) 鉄道の利用実態の意識・要望」に関する調査でございます。10ページの下段の表、鉄道の運行サービス満足度の部分でございます。バスとの乗り継ぎのしやすさにおきまして、「不満」もしくは「やや不満」の割合が高くなっているものでございます。1番下の表、今回の調査において、実際に鉄道を利用されている方に限った調査の部分で見ますと、全体よりも「満足」、「やや満足」の比率が若干高く示されているものとなりました。

続きまして、11ページ、「(6) 路線バスの利用実態と意識・要望」調査でございます。中段の円グラフでございます。自宅周辺で運行中の路線バスに関する認知度、横グラフでございます。認知度につきましては、最寄りのバス停のおおむねの時刻を知っているかという部分に関し、ご存知の方が4割弱と低くなった傾向が出てございます。中段、路線バスの利用頻度につきましては、「路線バスは利用しない」方が35.7%、「年に数日」利用される方が28.4%、64.1%の方が日常的なバスの利用はされていないという結果となりました。また、右下の表、路線バスを利用しない理由の部分につきましては、「自動車の方が便利であるから」。また1つ飛ばしてみますと、「徒歩・自転車・バイクで十分だから」、そういった自身によるご移動の方が便利であるという行いが顕著に高く出たものと捉えてございます。12ページでございます。路線バスの運行サービスの満足度につきましては、ご覧のとおり「運行本数」及び「運行時間帯」に関し、「やや不満」及び「不満」という風にお答えになられた方の比率が高くなっている一方、実際にバスを利用されている方に限った調査でございますと、全体よりも「満足」に関する表示の方が高く示されているものとなっております。

続きまして、13ページ、「(7) 市内循環バス「ヨッピー」の利用実態と意識・要望」調査について、でございます。1つ目のグラフ、市内循環バス「ヨッピー」の利用頻度といたしましては、やはりヨッピーが運行してございます「四街道西地域」におきまして、利用の頻度が突出して高く示されたものとなっております。ページ1番下のグラフの部分でございます。ヨッピーの運行サービス満足度につきましては、「無回答」の割合が非常に高いという部分、やはりヨッピーが運行している地域が限られている部分が反映されているかと思えます。実際に利用いただいている方としてのアンケートでございますと、満足度に関しては全体よりも高く示されているところが明らかとなっております。

14ページ、高速バスの利用頻度と意識・要望の調査でございます。下段の表でございます。高速バス運行サービスの満足度につきましては、「運行本数」、「運行時間帯」、「時刻表・路線図」などの運行上の案内、この部分において「不満」もしくは「やや不満」の割合が若干高く表示されているものとなっております。

15ページに移らせていただきます。「(9) タクシーの利用実態と意識・要望」調査でございます。こちら、上の円グラフ、タクシーの利用頻度につきましては、タクシーは利用しないを除きますと、「年に数日」が31.6%と最も多く、利用目的については、「趣味・娯楽」が最も多くなったところでございます。タクシー運行サービスの満足度という部分でございますと、「運賃」や「営業時間・配車サービス」などの営業情報において、「不満」、「やや不満」の割合が高く示されたものとなつてご

ざいます。

続きまして、16 ページ、「(10) 公共交通の利用意向」に関する調査でございます。こちらにつきまして、中段のグラフ、公共交通機関が運行された場合、行きたい場所という調査におきましては、「四街道駅及び周辺」、「イトーヨーカドー四街道店」、「四街道市役所・文化センター周辺」といった四街道駅北口、四街道市内の中核に位置する場所への運行で行きたいという事業の意向の調査が示されたものとなっております。

続きまして、17 ページをお願いいたします。「(11) 公共交通の今後のあり方」に関する調査でございます。○の1つ目、公共交通の取り組みの方向性は、「現状の公共交通を改善すべきだ(ルート、便数、時間帯の改善等)」が37%と最も高くなっており、公共交通に対する財政負担の考え方としては、「財政負担を現状程度に維持すべきだ」というご意見が58.3%、約6割の方からそのようなお声をいただきました。一方、「財政負担を増やすべきである」というご意見につきましては17.7%となったものでございます。○の2つ目です。公共交通を維持するため、ご自身で利用しようとするお考えについては、「強くそう思う」18.1%、「ややそう思う」48.8%、合計約66.9%の方からそういったお声があり、公共交通の維持に対して市民の方の前向きな意識が高い傾向となっていることが明らかになってございます。また、自家用車の過度な利用に頼らない生活の意向につきましても、肯定的な意見である、「そう思う」10.7%、「できる限りそうしたいと思う」31.8%、約4割を占めたものとなっております。○の3点目でございます。公共交通の利用を促進するための効果的な取り組みといたしましては、「路線バスや市内循環バスなどのルートや時刻表などを掲載した公共交通マップの作成・配布」が有効であると考えた方が約41%、「自動車運転免許証返納者への公共交通割引制度などの拡充」が有効であるというお声が37.4%となっております。

19 ページからは、市内循環バス「ヨッピー」の利用者のアンケート調査でございます。

19 ページ、20 ページが、バス停ごとにおける乗車人数、時刻による乗車人数のまとめとなっております。

22 ページへ進ませさせていただきます。市内循環バス「ヨッピー」の利用状況といたしましては、「週1日以上」ご利用いただいている方が、「平日」で69%、「休日」で52.5%を占めているものでございます。

続いて、23 ページへ進ませさせていただきます。実際にヨッピーをご利用されている方々の意識・要望調査でございます。2つ目の表、改善してほしいサービスの部分といたしましては、「運行本数」と「運行時間帯」、こちらの改善を望む声というのが大変大きく現れたものと捉えてございます。

続きまして、24 ページからは、鉄道・路線バス・タクシーを利用されている方へのアンケートの結果でございます。

25 ページをお願いいたします。「(2) 鉄道の利用状況」でございます。○の1つ目、主な利用目的は、平日の四街道駅においては「通学」42%、物井駅では「通勤」39.3%が主な目的となっております。○の2つ目、利用頻度といたしましては、平日、休日ともに「週5日以上」ご利用される方が多く示されたものでございます。また、駅までのアクセス交通手段といたしましては、四街道駅においては「路線バス」の利用が多くなっており、物井駅につきましては、「家族の車による送迎」が多くなっていることが明らかとなりました。

続きまして、資料が少し飛びまして 30 ページ、路線バスの運行サービスに関する調査の結果でございます。○の1つ目、運行サービスの満足度は、「運行本数」、「運行時間帯」、「他のバスや鉄道との乗り継ぎのしやすさ」で「満足」、「やや満足」が少なくなっております。30 ページ、中段の表、改善してほしいサービスの部分でございます。こちらにつきましては、「便数の増便」、そして「運行時間帯の拡大」、こちらを望む声が多くアンケートを通じて現れたものになっており、その下の表でございますが、いずれの報告も物井駅利用者からそういったお声が顕著に届いているという形でございます。

続きまして、31 ページがタクシー利用者のアンケート結果となっております。

32 ページ、「(3) タクシーの運行サービス」でございます。まずは1つ目、各運行サービスの満足度は、「車両の乗り心地」、「乗りやすさ」で「満足」、「やや満足」が多く、「利用のしやすさ、電話の呼び出しなど」、「営業時間・配車サービスなどの営業情報」で「不満」、「やや不満」が多くなったものでございます。改善をしてほしいサービスといたしましては、「タクシー車両の拡充」、こちらが 50%、「タクシー配車アプリによる事前予約サービスの充実」、こちらが 41.7%と多く示されたものとなっております。

続きまして、33 ページからでございます。こちらが交通事業者の皆様へ実施させていただいたアンケートの調査結果となっております。

33 ページ、「(1) 鉄道事業者(東日本旅客鉄道株)」様からのお声といたしましては、①番の中で、利用者の減少が顕著である、②番の中では、様々なコストダウンに取り組まなければならない状況でいらっしゃる、こういったお声をいただいたものでございます。同じく 33 ページ、「(2) 高速バス事業者(千葉内陸バス株・ちばグリーンバス株・なの花交通バス株・東京交通株)」様からのお声といたしましては、①番の中、やはり JR 様と同じく旅客数が大幅に減少されている現状がおありになる。②番といたしまして、乗務員の恒久的な不足状況、また、燃料代高騰、有料道路代金の負担、物価高騰に伴う修理費の増加などを課題として挙げていただいているところでございます。34 ページに進ませていただきます。高速バス事業者様からのお声の続き、③番の部分でございます。利用者様から寄せられているお声といたしましては、運休休止便の復活、四街道駅、7時30分発羽田空港行き、夕方から夜間の羽田空港発便、こちらに関する声が多く、また、佐倉四街道ー東京八重洲線についての再開を求める声の一部おありになるということでもございました。

34 ページ、「(3) 路線バス等事業者(千葉内陸バス株・ちばグリーンバス株・平和交通株)」様からお寄せいただいたアンケートの結果でございます。①番、利用者数や動向の変化などにつきましては、旅客数の減少傾向が加速されていらっしゃる状況である。また、②番、運行や経営上の課題、問題点につきましては、乗務員の恒久的な不足状況がおありになられている。また、④番、他の交通事業者や地域との連携につきましては、四街道駅北口、南口ともに、車やバス、タクシー、駅構内へ出入りする商業車が混在しており、バスの安全走行の妨げとなっているため、改善をお願いしたいというご意見をいただいたところでございます。

続きまして、35 ページでございます。「(4) タクシー事業者(エミタスタクシーアスカ株・(有)ニュー千都タクシー)」様からのアンケートの結果でございます。①番、利用者数や動向の変化などにつきましては、顧客の利用がコロナ前に戻りつつあるという状況をお聞かせいただけたところです。②番、運行や経営上の課題といたしましては、乗務員数不足、それに伴うサービス水準の維持向上

に困難を感じていらっしゃるという結果となりました。

36 ページ以降につきましては、関係団体のアンケート調査といたしまして、四街道市社会福祉協議会、四街道市商工会、また民生委員様からいただいたアンケートの結果を記載してございます。この関係団体のアンケート調査につきましては、やはり総じて、ご高齢者の方ないし体に不自由を持っていらっしゃる方、こういった方の移動に関し、地域から改善を求める声が多く上がっているという部分を強く意見として集約させていただいたところでございます。

急ぎとなってまいりましたが、公共交通に関し、実施いたしました実態調査及びアンケート結果の説明は以上でございます。

よろしく願いいたします。

【小早川会長】 ただ今、資料についてご説明をいただきました。

公共交通に関する実態調査の結果について、ご質問やご意見ございましたらお聞きしたいと思いますが、いかがでしょうか。

それでは、私から伺わせてください。3 ページの外出する時の困り具合で、年齢層別と困ることが多い目的という部分が、上と下で分かれています。年齢層別にみると違う結果になるかもしれないと思いました。若い人と高齢者の方で困り具合が同じなのか違うのか、クロス集計して見ていただくと有難いと思いました。

それから、16 ページの公共交通機関が運行された場合行きたい場所の意見として、「四街道駅や四街道駅周辺」や「イトーヨーカドー四街道店」、「四街道市役所・文化センター周辺」に行きたいという部分は、公共交通機関が運行された場合と記載されています。これは、現在運行されていますか。その辺はどのような聞き方をされていますか。

【事務局】 こちらにつきましては、既存のものとは別に、新たに公共交通が運行された場合、どこに行きたいですかという聞き方をさせていただいております。

【小早川会長】 追加でということですね。

【事務局】 はい。

【小早川会長】 そうすると、公共交通がある場所とない場所で若干違うと思います。まるごと集計だけでなく、分けて分析する必要があると思いました。

18 ページで、公共交通利用を促進するための効果的な取組で、「路線バスや市内循環バスなどのルートや時刻表などを掲載した公共交通マップの作成・配布」がありますが、現状ではありますか。あるけど、行き届いてないとか、全くないのか、その辺の現状はいかがですか。

【事務局】 公共交通マップは、まだ作成はできていません。

【小早川会長】 「自動車運転免許証返納者への公共交通割引制度などの拡充」は、あるけど、もっ

と拡充してほしいということですか。

【事務局】 免許返納者向けの市が実施している割引制度については、ありません。

【小早川会長】 分かりました。どういう対象にどういう条件で聞いているのかによって、結果が異なってくるので整理した方がいいと思いました。

【事務局】 1番最初にありました、公共交通機関が運行された場合行きたい場所の設問について、補足になります。聞き方としまして、今新たにというお伝えの仕方をしてしまいましたが、目的地へ直接行ける手段があったらというニュアンスでのご質問にさせていただきます。

【小早川会長】 分かりました。どこかで乗り継がないといけないということですね。その辺も誤解がないようにしていただきたいと思います。他に皆様から質問、ご意見等ございますか。

【江守副会長】 アンケートお疲れ様でございました。かなりのボリュームで聞かれており、相対的に知るための資料としてはかなり充実したものかなという風に思っております。今の小早川会長の話と通じる場所もありますが、やはりクロス集計で見ないとわからないところも結構あると思います。顕著なのが13ページ、市内循環バス「ヨッピー」になります。市全体では10%ぐらいしか利用していません。10%は、要は全部で120、30人ぐらい。それなのに、満足度を聞くと、1,100人中40%ぐらい。それを評価していることになります。ということは、利用しないのにサービスの満足度を評価しているという形になります。何をもちいて満足しているのか。その中の人、何歳の人、満足しているのか。そういうところがわかるといいかなと思っております、この下の運行サービス満足度のところだと思います。この部分を少し細かく見ていただくといいかなという風に思いました。

これまで、会議の中でも言ってきましたが、高齢者の交通については、四街道市は福祉有償運送をやられている事業者さんが複数あると思います。このような事業者も、高齢者交通に関して、組織の中で、色々な課題を持っているかと思っております。アンケートの後半に、地域ごとに色々テキストとして意見が出されています。このような形のヒアリングで構わないと思いますので、1度伺いましたらどうでしょうかというところが、私としての意見でございます。非常に高齢者に対する交通の担保は、時間がかかりますが、聞いていただくといいと思います。

【小早川会長】 いかがでしょうか。福祉有償運送を実施している事業者へのヒアリングはできそうですか。

【事務局】 当初、計画策定の中で市民の皆様から地区ごとの意見交換会の場を設けさせていただく予定でした。今回に関しましては、募集に対し、手を挙げた方が各地区で1名程度になってしまったこともあり、手を挙げていただいた方に対して、事務局の方で個別にご意見を伺う形で準備を進めているところでございます。



【小早川会長】 一応やる予定でありましたが、あまり参加者がいないということで分かりました。

【江守副会長】 NPO 法人や福祉有償運送を行われているのは、四街道市には5か所あります。事業を別途、市が認定し、半額（現在は8割の運賃でよくなっている）で運行しています。ヒアリングされたらどうでしょうか。

【小早川会長】 ぜひお願いいたします。他にはいかがでしょうか。

私から1つだけ。このアンケート調査は、すごくボリュームがあり大変だったのかなと思います。出来れば交通手段ごとにまとめてもらうことはできますか。路線バスや高速バスなどの結果がこのようになり、課題がこのようになる、といった感じで整理して頂けないでしょうか。交通手段ごとにまとめをして頂けると、有難いと思いました。

【事務局】 今お話しがありましたとおり、この後の作業を進めさせていただきたいと思います。あと、もう少しクロス集計を細かくというお話もありました。計画策定まで時間が非常にタイトではありますが、もう少し分析を進めたいと思います。

【小早川会長】 クロス集計もやり始めるとキリがないため、本当に知りたい情報が何か、絞ってクロス集計の方法を考えて頂ければと思います。

【小早川会長】 ほかにご質問等なければ、議題（1）を終了したいと思います。

## （2）四街道市地域公共交通計画骨子（案）について

【小早川会長】 続いて、議題（2）四街道市地域公共交通計画骨子（案）について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】 議題2についてご説明を行わせていただきます。

まず、お手元に配布させていただきました資料2をご覧くださいよろしいでしょうか。

「四街道市における地域公共交通の課題」、「四街道市の現状」、こちらにつきましては、四街道市における現在の状況というのを端的にまとめた部分でございます。その1つ下、「公共交通に関する実態調査」でございます。こちらにつきましては、「市民アンケート調査」、「市内循環バス「ヨッピー」利用者アンケート調査」、「鉄道・路線バス・タクシー利用者アンケート調査」、「交通事業者アンケート調査」、「民生委員・児童委員アンケート調査」で、それぞれの結果のうち、主なものをまとめさせていただいた部分となっております。

この現状と実態調査を通じて見えましたご意見、こちらの方も同じく資料2の右側でございます。四街道市における「地域公共交通の課題」として、事務局において9点にまとめさせていただいたものでございます。

1 点目、市の骨格を形成する鉄道及び路線バスの維持・確保と利用促進。

- 2 点目、市内循環バス「ヨッピー」の利便性と効率性の改善。
- 3 点目、タクシーの利用促進。
- 4 点目、グリーンスローモビリティのサービス検証による他地区への導入拡大検討。
- 5 点目、高齢者の移動支援及び公共交通空白地域の改善。
- 6 点目、公共交通機関同士の接続と広域アクセスの解消。
- 7 点目、市民・来訪者に分かりやすい運行情報の提供。
- 8 点目、利用促進に向けた市民意識の醸成。
- 9 点目、多様な主体との連携・協働による持続可能性の確保。

この課題の解決をもって、四街道市の地域公共交通計画に取り組んでみてはどうかというところ  
です。

続いて、資料3「四街道市地域公共交通計画骨子案」について事務局より説明させていただきます。

1 ページ、「序章 計画の概要」。こちらにつきましては、第1回の会議から皆様に検討の礎として  
いただいている「背景・目的」と「計画の位置づけ」、そして「計画区域」をそのままお示しさせ  
ていただいたものになります。2 ページ、「計画期間」。こちらにつきましても当初の想定どおり、5  
箇年での計画として取り組んでまいりたいと考えてございます。

3 ページからは、「四街道市の現状」といたしまして、四街道市の「位置・地勢」。4 ページ、5 ペ  
ージが「人口動向」。そして6 ページ、7 ページが主要な商業施設及び医療施設に関する分布図。8  
ページが公共施設・教育施設に関する分布の図でございます。また、9 ページにつきましては、四街  
道市「地域公共交通の概況」といたしまして、四街道駅を中心に広域的なネットワークが形成され  
ている現状を図表化したものでございます。10 ページは、「地域公共交通沿線地域の徒歩圏人口分  
布等」といたしまして、鉄道駅から半径 800 メートル、バス停から半径 400 メートルを公共交通利  
用地域とし、国勢調査の 250 メートルメッシュ人口と重なる割合を算出したものとなり、網掛けの部  
分が公共交通空白地域となります。11 ページにつきましては、通勤・通学における四街道市からの  
流出。また他自治体からの流入。こちらに関しては、国勢調査に基づく数字でございます。12 ペ  
ージが「利用交通手段」に関する現状。13 ページが「自動車保有台数」及び「運転免許証自主返納者」  
に関する現状。そして14 ページが「鉄道」に関する利用の現状。15 ページが「高速バス」に関する  
利用の現状。16 ページから「路線バス」の利用に関する現状。19 ページが「コミュニティバス「ヨ  
ッピー」の利用に関する現状。21 ページは「タクシー」及び「福祉タクシー利用助成」に関するこ  
と、タクシーの利用状況に関する現状でございます。22 ページが「福祉有償運送」の実施の状況。  
23 ページが「グリーンスローモビリティ」の実施の状況。このように、第1章として「四街道市の  
現状」を掲げさせていただきました。

25 ページからは先ほど申し上げました「地域公共交通の課題」の整理とさせていただいてござい  
ます。26 ページの下段の表が、先ほどご覧いただいた資料に、事務局が提案させていただく、事務  
局として取り上げた「地域公共交通の課題」9点でございます。27 ページ以降に関しましては、各  
課題をそれぞれ掘り下げた記載となっております。

その上で 35 ページに進ませさせていただきます。こちら、第4章といたしまして、「地域公共交通の  
基本方針」でございます。35 ページにつきましては、上位計画となります四街道市総合計画におい

て定めております「4つのまちづくりの道」、そして下段、「まちづくりの推進力」、こちらをお示しさせていただいたものとなっております。ここまで抽出されました課題、そして四街道市総合計画にあります「まちづくりの道」等を総合的に勘案しまして、36ページにございます本市における地域公共交通の基本理念といたしまして、「みんなで創り、支える みんなに優しいまち、四街道」というものを目指してはいかがかと考えてございます。

1点目、「みんなで創る 共創の視点」。市民、交通事業者、行政の3者がそれぞれの役割を認識し、連携を強化しながら互いに創意工夫することで、地域の移動実態に応じた地域公共交通ネットワークを形成いたします。

2点目、「みんなで支える 持続の視点」といたしまして、公共交通機関の利用を促進し、地域公共交通に関わるすべての関係者が適正な負担のもと、収支均衡の取れた地域公共交通サービスを目指し、持続可能な地域公共交通の実現を図ってまいります。

3点目、「みんなに優しい 安心、快適の視点」。利便性や安全性の高い地域公共交通の利用環境を市全域においてバランスよく整備することで、誰もが無理なく円滑に移動ができるように支援し、みんなに優しいまちづくりを進めたいというものでございます。

36ページ下段の表でございます。左側が、先ほどからのご説明でございます本市における9つの課題、これを今ご説明申し上げました、「地域公共交通の基本方針」に当てはめていきますと、このような作業になるというイメージでございます。

37ページが、3つの「基本方針」についての記載となっているものでございます。また38ページでございます。「2. 地域公共交通ネットワークのあり方」といたしましては、枠組みの中でございます「○朝夕の通勤・通学時間帯や日中時間帯の需要に応じた地域公共交通ネットワークの形成」と、「○（広域）幹線公共交通と地域内公共交通との連携強化」を目指す必要があると考えてございます。その上で、各輸送サービスの役割といたしまして、図表の通り、交通機関ごとに対象者と移動量・距離を整備した表となっております。39ページでございます。「交通結節点」のあり方といたしまして、交通結節点は、幹線、支線交通の接続性を高める重要な役割を担うことから、「四街道市都市計画マスタープラン」で掲げました「まちの将来都市構造図」に示す各拠点、そして軸との整合を図り、幹線同士、又は幹線・支線の乗り継ぎが可能なJR四街道駅及びJR物井駅を交通結節点として定めたものでございます。

41ページでございます。その他といたしまして、「(1) 地域間格差の改善に向けた考え方」、「(2) コミュニティバス等の改善に向けた考え方」、そして42ページに入りまして、「(3) 地域主体の地域交通の確保支援に向けた考え方」。こちらの方を考え方として3つまとめたものでございます。

一旦、本日皆様の方に事務局よりお示しいたします方針としてはこのような形となります。43ページ以降でございますけれども、基本方針に応じた目標設定について、この点については第4回の会議におきまして皆様にご検討をいただければと考えてございます。

駆け足でございますが、地域公共交通計画の骨子に関する事務局説明は以上でございます。

よろしくお願いたします。

【小早川会長】 ただ今、資料についてご説明をいただきました。

四街道市地域公共交通計画骨子（案）について、ご質問やご意見ございましたらお聞きしたいと

思います。

計画策定までには、次回、次々回の会議体を経てということで、今回は事務局が考えていることを骨子案として出していただいたということでよろしいでしょうか。

【事務局】 おっしゃる通りでございます。

【及川委員】 資料2及び骨子案において、各アンケート調査の結果を反映しています。今回、社会福祉協議会、商工会さんがアンケート内にご意見させていただきました。地域の方々とお話をする中で仕入れた情報の部分もございます。民生委員さんのアンケートと重複しても構いません。可能であれば、関係団体と民生委員から聞き取ったアンケート調査の意見を反映しているように、記載頂けると有難いと思いますので、お願いいたします。

【小早川会長】 いかがでしょうか。

【事務局】 ご意見のとおり、検討を進めさせていただき、対応したいと思います。

【小早川会長】 これは、今のところ反映されていないですか。もうすでに反映されていますか。

【事務局】 25ページの課題整理において、関係団体アンケート調査のまとめが入っていないというご指摘かと思います。重複してもよろしいということでしたので、今後記載したいと思います。

【小早川会長】 よろしくお願いいたします。

【成田委員】 私から3点あります。よろしいでしょうか。

資料2「四街道市における地域公共交通の課題」は、資料1「公共交通に関する実態調査アンケート結果」があった上での話になります。骨子案の資料3を見ますと、資料2の内容がそのままどんどん進んでいくような解釈になりました。右の方の矢印を見た際に、例えば地域公共交通の課題として、「市の骨格を形成する鉄道及び路線バスの維持・確保と利用促進」と記載されています。この中の現状、実態調査をどう整理してここになったかは、多分専門的に行っている方が、この部分見ればこのようなことになったとわかると思います。なぜこの課題になったのかという部分を計画に盛り込まなくても構いませんので、会議における合意形成のために情報整理していただくとうありがたいということが1点目です。

もう1点目は、今日はまだ実施事業まで進んでおらず、骨子案までです。あえて質問させていただきます。路線バスの走っている部分が、現状の骨格としてある中で、路線バスとヨッピーがどのように関わり合っていくかという部分は、今は曖昧になっており、この骨子案の中で、その部分が少し見えません。いわゆる市の中の路線バスの維持確保という部分の定義づけが必要かと思います。例えば、ヨッピーが市の中でも全体に行っていない部分を、この5年間に変えないのであれば変えないというようなことが読み取れるような内容があった方が良くと思います。そういった部分も事業

を進める上では整理をしていただけないかというのは、要望になります。

最後の3点目は、新しいこの課題の中に、新しい交通モードを検討したいとあります。グリーンスローモビリティのサービス検証というものは新しいものでいいのかどうかという点です。グリーンスローモビリティは、千代田地区で実証運行を行っていますが、今後も四街道市では拡大していくようなお考えがあるのかどうかという部分は、ある程度方向性、方針として読み取れる内容がありましたら、ご指摘いただければと思います。

【小早川会長】 いかがでしょうか。

【事務局】 まず、1点目のところにつきましては、課題にたどり着くまでの考え方をもう少しわかりやすく、市民の方がご覧になった時にも分かるように、というご指摘だと思いますので、もう少し事務局で工夫をさせていただきたいと思います。

2点目につきましては、要望ということでございました。事務局としても、路線バスとヨッピーの関わり合いにつきまして、改めてきちんと整理をし、維持確保についてもその定義づけを次回の会議までにお伝えできることがあればきちんと回答できるように準備したいと思います。

3点目のグリーンスローモビリティにつきましては、現時点でまだ明確な方向性が出ていません。実証運行が始まりかなりの時間、期間が経っているため、事務局としても、次の取り組みに向けての計画を考えていかななくてはならないと考えております。次の4回目の会議にはそのところを具体的な取り組みの事業としてご提案できればと考えています。

【成田委員】 わかりました。ありがとうございます。

【小早川会長】 次回、具体的に出てくるということですかね。

【事務局】 はい。

【小早川会長】 今、成田委員からご指摘がありましたところに若干似ています。資料3、36ページになります。基本理念で「みんなで創る」、「みんなで支える」、「みんなに優しい」とあり、その下に基本方針1～3と、地域公共交通の課題9つがあります。基本理念と、課題、基本方針がどのようにつながっているか分かりづらいと思いました。「みんなで創る」、「みんなで支える」、「みんなに優しい」が基本方針1～3とつながるということですか。

【事務局】 イメージ図等が分かりづらいというところは、事務局の反省点すべき点だと思います。この基本理念は、これからの四街道市の公共交通が目指す方向性、取り組みの大きな根幹をお示ししています。この視点に基づきまして、今お示しさせていただいている9つの課題を解決するために、右手にある基本方針に基づき取り組みを考えていきたいという、流れになっております。

【小早川会長】 基本理念の図や課題から基本理念への矢印の表現について、今ではなくてよいので、

ご検討いただいた方がいい気がしました。再度ご検討いただけるとありがたいと思います。

【南委員】 36 ページの下の方で、それぞれ9つの課題があり、それぞれ基本方針1、2、3に対応していくところです。例えば、課題に「高齢者の移動支援及び公共交通空白地域の解消」があり、これを課題解決するための基本方針3に対応しているような見方になると思います。公共交通空白地域の解消は、課題解決するために、当然そこには交通手段がないので何か走らせるような考え方もあります。そうすると、基本方針1「地域の実情に応じた地域公共交通ネットワークの形成」とリンクしてくると考えられると思います。ここはあくまで分かりやすく対応を表にしたというところで、今後、その基本方針に基づいて事業とかを考えていく上では、色々リンクしてきます。その方針を解決するために同じ取り組みが入ってくることは当然あるかと思っています。その方針に1対1の関係にとらわれず、そこを一体といった、関係性を考慮しながら進めていただけるといいのかなと思います。

【小早川会長】 ありがとうございます。私の疑問も若干解消されました。

【江守副会長】 個人的には、地域公共交通の課題「⑧利用促進に向けた市民意識の醸成」が非常に重要だと思います。例えば、タクシーが高いから乗らないという意見や、自家用車と比べて高いみたいな意見がありますが、高級車を買って持っている場合は、購入した費用や維持費を含めると自家用車の方が高いのではないかと思います。タクシーが高いというような市民意識自体が公共交通を利用しないことに繋がってくるのではないかと考えています。市民意識を醸成していく段階で、市民と一緒に公共交通を考えていくことが重要かと考えています。

私が参加している他のバリアフリー協議会でも、そのような市民意識の醸成を如何にやっていくのか、ハードの基準に相当するようなことを地域で考えながらやっていく段階をステップとして踏んでいます。その上で、なぜ必要なのか、どう活用すべきなのかを利用者や必要とする人以外が考えていくステップになっていることを評価しています。

利用促進に向けた意識の醸成について進むことが、必ずしもハードを整理していくことだけではなく、重要だということを申し上げたいということでございます。

【小早川会長】 今のご指摘、市民意識の醸成については、次回以降で出てくるかと思っています。そのようなところに持っていただければと思います。よろしく願いいたします。

【小早川会長】 ほかにご質問等なければ、議題（2）を終了します。

## 5. その他

【小早川会長】 最後にその他について、事務局又は委員の皆様から何かありますか。

【事務局】 次回以降の会議予定につきましてお知らせをさせていただきたいと思います。第4回につきましては12月25日水曜日、午前10時から文化センター203号室での開催を予定しております。最後の第5回が1月30日木曜日、同じく午前10時から。隣の201、202号室での開催を予定しております。

この2回の中で、第4回におきましては、本日いただきましたご意見を基に再度中身の修正を行い、反映されたものを計画案として皆様に諮問という形でお示しをさせていただきたいと思います。

最終的に1月30日の最後の会議において、皆様方からの答申をいただくという流れを予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

【小早川会長】 次回は結構重要な会議になる感じですね。第5回の1月30日に最後のご審議をいただくというスケジュール案になります。

最後に皆様からご質問等はございますか。

【成田委員】 1月30日と12月25日の会議日程について、了解しました。

お伺いすることと要望になります。今回は課題及びそれに基づく事業が書かれておりません。事業というと具体的にバス路線をどうするのかなど、色々具体的な案が出てくると思います。第4回の会議の前にバス事業やタクシー事業に関連する計画の事業案について、市内運行する事業者と事前にご調整をいただくことが非常に重要であります。12月25日までにある程度、事業者と調整を進めた中で議論をしていただきたい。

今日、話がありませんでしたが、パブリックコメントどうするのか。1月30日に決めるという話がありました。1月30日に決めた後に、パブリックコメントを実施するのか。市の計画ですので、それはいつ決めるのか。この計画を策定すると計画に基づく事業の実施をそれぞれの主体が進めていきます。ある程度その時間にはパブコメもそうですが、市の施策の中でどのように活かしていくのかというある程度の予定を資料という形でご提出いただくのが非常に重要だと思います。1点のご調整をいただけるのかどうか。あとは、そのスケジュール感を次回いただければありがたいという要望でございます。

【小早川会長】 いかがでしょうか。

【事務局】 ご要望に沿えるように、事務局対応させていただきたいと思います。

【小早川会長】 ちなみにパブコメはどのタイミングで実施するのはまだ決まっていないですか。

【事務局】 現時点では、1月30日にご審議いただきまして、2月からパブリックコメントを開始いたします。1カ月間の意見募集をいただく予定でございます。

【小早川会長】 1月30日にご審議いただいたものをパブコメにかけるということですか。

【事務局】 はい。そのままパブコメ案になる予定で考えております。

【小早川会長】 パブコメに出てきた意見についての対応はどうするのですか。

【事務局】 パブリックコメント前に第5回の会議にて計画案を答申いただきますので、その後の意見の反映につきましては、市の方で最終的な判断をさせていただきたいと考えております。

【小早川会長】 それは、皆さんにメールでも郵送でも何か送っていただけますか。

【事務局】 最終的な決定前には、皆様に資料としてお送りさせていただきたいと思います。

【成田委員】 今の事務局のご答弁でよく分かりました。そうしますと、パブリックコメントが2月から1か月間あり、新年度の4月から計画がスタートする。四街道市の令和7年度、例えば5月ぐらいからスタートしなくてはいけない施策は、公共交通会議のメンバーにはどのタイミングで周知いただけますか。第5回の1月30日の時にある程度、事業の進め方について、ご提案いただいた方が、白紙状態みたいな形にならないと思います。詰め切らなくてもいいです。そういう方向性は示していただいた方が計画策定後も円滑に事業は進むと思います。よろしくお願いします。

【小早川会長】 それは対応していただけますか。大丈夫ですか。

【事務局】 事業を実施する際には、事業者様にも影響してくることだと思えます。可能な限りそちらにつきまして第5回の会議までに準備を進めたいと思えます。

【小早川会長】 ほかにいかがでしょうか。

【土門委員】 資料3の39ページの方をご覧ください。四街道駅と物井駅についての整備の現状と記載されています。物井駅はタクシーが常駐していることが少ないという認識なのですが、物井駅のタクシーに○がついているのはなぜでしょうか。利用者の私たちとしては、タクシーは前もって電話で予約しない限り、物井駅から乗れない状況です。後は、駐車場で四街道駅に○がついていますが、これは無料でなく、有料の場合の駐車場ですか。物井駅も有料の駐車場は4か所位あります。

【小早川会長】 39ページの○の意味ですね。

【事務局】 駐車場については、市営駐車場の有無で考えております。確かに物井駅にも民間の駐車場は幾つかあるかと思えます。

【土門委員】 市の駐車場をおっしゃっているのですね。分かりました。



